

令和2年（2020）12月3日～12月7日

令和2年度（2020）

第6回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和2年度（2020）第6回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

12月3日（木） 10:00 開会			12月4日（金） 10:00 開会			12月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	宮本 享	3	1	伊藤 繁満	10	1	福島 孝雄	17
2	大場 利信	4	2	岸 道三	11	2	玉木 満	18
3	今岡 真治	5	3	本田 一勇	12	3	後藤 由美	19 ～ 20
4	保科 孝充	6	4	山内 英司	13	4	寺本 淳一	21
5	川光 秀昭	7	5	児玉 俊雄	14	5	板垣 成二	22
6	大谷 良治	8	6	湯浅 啓史	15	6	神門 至	23
7	錦織 稔	9	7	長廻 利行	16	7	板倉 一郎	24

質問者	31 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) 市長の市政運営について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市行財政改革大綱に掲げる行財政改革の成果について ② 出雲市総合振興計画「出雲未来図」に掲げる4つの戦略プロジェクトのそれぞれの成果について <ul style="list-style-type: none"> ア 雇用創出2,500人プロジェクト イ 定住人口キープ17万人プロジェクト ウ 交流人口1,200万人プロジェクト エ 住みやすさNo.1プロジェクト ③ 次期市長選挙について 	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナ禍の下での指定管理料について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在、指定管理者制度を導入している市の公の施設の全体の数と系統別の数を伺う。 ② 指定管理料の積算方法を伺う。 ③ 多くの指定管理施設は、新型コロナウイルス禍の影響で、事業収入の減少により厳しい経営を余儀なくされている。系統別にどのような状況か。 ④ 特に厳しい経営を余儀なくされている指定管理施設への支援策を伺う。 	
(2) 斐川インター待合所の整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 斐川インター待合所における路線数および便数について伺う。 ② 木次高速バス待合所における路線数および便数について伺う。 ③ 尾道松江線の木次高速バス待合所は木造平屋建てでトイレと待合室を有しており、高速バス利用者にとって便利な施設である。一方、斐川インター待合所はトイレが完備されず、不便さを指摘されている。木次高速バス待合所並みの施設は必要と考えるがこれについて伺う。 ④ トイレと待合室を有する待合所を整備しようとする場合の課題は何か。 ⑤ また、駐車場の狭さも指摘されており、余裕をもって駐車できるスペースを確保すべきと考えるが、これについても伺う。 	

質問者	1 今岡真治
質問事項・質問内容	
(1) 産後ケア事業の充実について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 産後ケアが必要な状況についてどのように把握されているのか伺う。 ② 産後ケア事業の取り組みとその利用状況について伺う。 ③ 産後ケア事業の充実について伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 産後ケア事業の「宿泊型」を創設する考えはないか伺う。 イ 産後ケアを利用しやすくするための今後の取り組みについて伺う。 	
(2) 土砂災害対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定に伴う支援制度とその利用状況について伺う。 ② 治山事業によるハード整備への考え方、具体的対策事業について伺う。 	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 斐伊川樋門の底版を低くし農業用水の確保を	
<p>① 斐伊川はかつて天井川と言われ学校でも教わってきました。近年、斐川で言いますと出西から伊波野にかけて、旧出雲では大津来原からの下流部付近では河床が低下し、樋門へ向けて大規模な砂堰を構築しなければ農業用水・農業関係者の生活用水の取水ができない状況です。</p> <p>安定的な取水に向けて長期的な展望と関係者の協調が必要ではないかと思えます。</p> <p>今後の対策について提案し、要望にあわせて質問します。</p> <p>ア 出雲市に組織されている斐伊川に関連した水利組合の状況</p> <p> a 合併後の水利組合の現状を伺う</p> <p> b 水利組合の水利権についての考え方</p> <p>イ 樋門の底版を低くして、安定的な取水の確保を</p> <p> a 取水の方法とそれぞれの問題点</p> <p> b 毎年砂堰を設置している樋門の名称と費用</p> <p> c 取水できにくい樋門の底版を低くして、安定的な用水確保を実現すべきと思うが、考えを伺う</p> <p> d 底版を低くするには、関係者の意見集約・膨大な工事費用が見込まれるが、10年・20年あるいはそれ以上の年次計画のもとに、河川管理者である出雲河川事務所との協議が必要と思うが、考えを伺う</p>	
(2) 防災行政無線とお悔み放送について	
<p>① 9月の議会において防災行政無線とお悔み放送について一般質問をしました。その状況を聞いて、皆さんから防災行政無線の加入率の低さ、お悔み放送の中止についての批判が相次いでいます。自治協会に対して、防災行政無線・お悔み放送等について市の考え方を説明し、意見を求められたと聞いていますが、意見を聞いた後の市の対応について伺います。</p> <p>ア 自治協会の意見と市の対応について</p> <p> a 防災行政無線についてはどのような意見・要望であったのか</p> <p> b お悔み放送についてはどのような意見・要望であったのか</p> <p> c 意見・要望を聞いてお悔み放送を実施し、全市に拡大する考えはないか。</p> <p>イ 防災行政無線の加入率について</p> <p> a 9月議会・8月末日で報告を受けた後の各地域の加入状況・割合</p> <p> b 加入促進に向けた取り組みはどのようにされたか</p> <p> c 加入率の目標は100%ではないのか</p> <p> d 加入されない家庭においては、孤立されることも考えられるが対応は</p>	

質問者	5 川 光 秀 昭
質問事項・質問内容	
(1) 高齢者に対する新型コロナウイルスなどの感染症への対応は充分ですか	
<p>① 新型コロナウイルスによる日本での死者が、11月22日に累計で2千人を超えたとの報道がありました。致死率は当初よりも抑えられていますが、年代別では70歳以上の高齢者が85%を占めています。現状では、出雲市での感染者は少なく抑えられ、重症者も皆無ですが、準備を万全にしておく必要はあります。そこで、高齢者の医療・介護について、次の2点について質問します。</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症に罹患した介護を要する高齢者は、現状では医療機関などに収容され、医療処置が行われます。一方、自宅や施設で新型コロナウイルス感染症が発生し、支援者（ケアワーカー）が罹患した場合には、要介護状態の高齢者が孤立したり、介護施設の運営が困難な状況に陥ります。このような場合の出雲市の対応について伺います。</p> <p>イ 新型コロナウイルスなどの感染症に限らず、高齢者が在宅中に何らかの疾患に罹患した場合には、訪問診療や看護を選択するケースが増加しています。一方、出雲市立総合医療センターの訪問診療の件数は、1月あたりの訪問患者数の平均は10人、訪問件数は12件にすぎません。10月14日の島根日日新聞によると、「訪問診療紹介外来」の周知を図り、訪問診療先を増やしたいとしています。現在の状況と今後の対応について伺います。</p>	
(2) 新型コロナウイルス感染症により低迷する経済の中、来年度の財政が心配です	
<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた出雲市の経済も、さまざまな施策などによりやっと回復の基調が見え始めてきました。しかし、近頃の第3波の襲来により、先行きはまた、不透明となってしまいました。来年度の予算編成方針が発表になりましたが、どのようにしてこのコロナ禍を切り抜けるのか、歳出の抑制について、詳細は定かではありません。そこで、出雲市の財政や施策について、次の2点について伺います。</p> <p>ア 現在の財政状況で、来年度の予算編成が例年（従来）通りの手法で行われるのか、或いはどのような点が異なるのか</p> <p>イ 執行のための予算が承認されているプロジェクト（次期可燃ごみ処理施設、新体育館、小学校統合整備、平田行政センターなど）の継続の必要性と事業の休止、凍結は可能であるか</p>	

質問者	9 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 農業振興施策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「新出雲農業チャレンジ事業」について <ul style="list-style-type: none"> ア 地域農業課題解決メソッド提案事業と中山間地域水田省力化支援事業の波及と効果・事業の活用実績と今後の検討すべき課題 イ チャレンジ事業補助メニューの啓発 ウ 新出雲農業チャレンジ事業等、次期事業への考え方のポイントについて ② 多面的支払交付金（事業）制度について <ul style="list-style-type: none"> ア これまでの取組み状況（地域別）団体数 イ 今後の取組みと課題 	
(2) ICT活用教育環境整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ① GIGAスクール構想の実現を目指す活用段階までの、移行スケジュールが示されたが、ICT支援員など企業や地域の人材の活用の確保についての考え方を伺う ② 障がいがあるお子さんが、学習に参加できるためのICT活用について <ul style="list-style-type: none"> ア 個々の障がいや特性に応じた機器活用（指導）についての考え方 	

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルス感染症により亡くなられた場合の対応について	
<p>① 遺体のエンゼルケアから火葬まで、病院、葬祭業者、遺族がどのように関わることになるのか。また、感染対策がどのようになされるのか伺います。</p> <p>② 斎場使用許可申請書など各申請書について、遺族が感染している場合や濃厚接触者の場合、手続きはどのようにすることになるのか伺います。</p>	
(2) 行政手続きのデジタル化でオンライン申請の推進を	
<p>① 本市において、「マイナポータル・ぴったりサービス」にあるメニューの中から、何と何をすでに活用し、今後、追加を検討している項目があるのか伺います。</p> <p>② 行政手続における押印廃止について</p> <p>ア 本市の行政文書において、今から廃止対象リストの洗い出しを積極的にすべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>イ すでに国の動きにあわせてその準備を進めているのか、取り組み状況を伺います。</p> <p>ウ 押印が必要なものとそうではないものとをリストにして公開できないか伺います。</p>	

質問者	19	伊藤繁満
-----	----	------

質問事項・質問内容

(1) 中央工業団地（斐川町直江）東工区約18haの区域及び西工区、新建川以東の区域についてそれぞれの整備方針を伺います。

- ① 中央工業団地東工区地域は、市道杉沢線を境に西側には（株）出雲村田製作所新設工場、南側に隣接して島根島津（株）、東方向には少し離れて（株）島根富士通が立地し、周辺地域全体を斐川町が工業団地計画を進め用地買収した地域であり、西工区を含めて一大工業団地計画をたて将来に大きな期待がかけられた場所であり、しかしその後、編入合併を経て平成30年に西工区で工業団地開発に際し古代の道路跡である「出雲国山陰道跡」延長650mが古代の道路跡として国の史跡指定となり、工業団地は規模を縮小し4.5haにとどめて売渡し現在、（株）出雲村田製作所が新工場にて操業されています。本年11月20日には新たに東工区の内、延長350m、面積11,660.46㎡が追加指定される見込みであると報道発表されました。内容的にも全国でも貴重な数少ない道路遺跡であると評価されていることが報道されています。以下の項目について伺います。
- ア 用地買収後約20年、斐川町が編入合併して9年が経過しこの間、整備方針が示されないままに時間が過ぎていくが、合併協議ではどのような引継ぎがされその後どのような検討がされてきたのか伺います。
 - イ 地元関係者の用地買収経過からすれば国史跡「山陰道跡」が先行している現状は違和感があり早期に次期（令和4年～13年）総合基本計画策定において整備方針を明らかにすべきではないか伺います。
 - ウ 未整備として残された西工区及び新建川以東の市管理地を含め整備方針について伺います。
 - エ 追加指定される見込みの道路遺構について今後の保存活用計画等、現地での計画、指定をめぐる概ねのスケジュールについて伺います。
 - オ 当該東工区、西工区及び新建川以東全域について当面の管理方針を伺います。

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) イノシシ被害の現状と課題について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市におけるイノシシ被害の現状 ② 国および市の助成制度の活用状況 ③ 捕獲体制の確保・充実対策 ④ 課題解決に向けた市としての関わり方 	
(2) 地域の共同活動における諸課題について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 近年の地域の共同活動における相談件数とその主な内容 ② 現状における住民対応と課題 ③ 地域の共同活動に対する市としての考え方 	

質問者	8 本 田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 田儀たたら製鉄遺跡の未来をどう描いて行くか伺います	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在の状況はどうなっていますか ② 今後の計画を伺います ③ 奥出雲のたたら遺跡では、アニメファンが押し寄せていると聞きますが、出雲市職員から何かアイデアはありませんか 	
(2) その後の業務改善提案制度について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 9月から11月末までの間に業務改善提案は、何件提出されましたか、伺います 	

質問者	3 山内英司
質問事項・質問内容	
(1) 出雲健康公園スケートボード場について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲健康公園スケートボード場が建設された経緯を伺う。 ② 老朽化している現状を認識しておられるか伺う。 ③ これまでどのような修繕をされたか伺う。 ④ 全面改修されるお考えはないか伺う。 	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) ふれあい農業施設の整備について	
<p>① 中山間地域の活力回復のため、児童遊園、農業体験施設、産直市場、農家レストランなどからなる「ふれあい農業施設」が必要だと考えています。「うみ・やま応援センター」の主導で実現に向けた検討をしていただけないか伺います。</p>	
(2) 工科系高等教育機関の誘致について	
<p>① これまでの取組み状況を伺います。</p> <p>② ポストコロナを見据えて新たな戦略で誘致に臨むべきと考えるが、所見を伺います。</p>	

質問者	11 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) ウィズコロナと呼ばれる状況に市はどのように対応するのか	
<p>① 公共施設を安心して利用するための感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 指定管理を行っている施設について、感染症対策や利用基準等についての話し合いはどのように行われているか イ 設備としての感染症対策は市が整えるべきではないか ウ 令和3年度の指定管理料についてどのような話し合いが行われているか <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済を立て直す対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 令和2年度の補正として行った経済対策をどのように評価しているか イ 対策が行き届かない業種はどのようなものと認識しているか <p>③ 市が行う行事、イベントについての考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市が行う行事、イベントは、中止を第一の選択肢とするのではなく、「開催できる方法」を考慮することを第一義とすべきと考えるが見解は イ 「GO TO メモリアル」とでも言うべき、人生節目のイベントの自粛緩和を目指した対策が必要ではないか 	

質問者	32 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 市内コミュニティセンターの整備計画について	
<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティセンターの整備に関する基本的な考え方を伺う。 ② 大社地域には、市内で最も古いコミュニティセンターが2施設あるが、整備にあたっての考え方にに基づき、どのような検討がなされているか伺う。 	

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 選挙時の投開票における新型コロナウイルス感染症対策について	
<p>① 期日前投票時の対策について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 受付時の混雑の要因となる期日前投票宣誓書と入場券の一体化 イ 3密、換気、消毒の対応 ウ 担当職員の体制 <p>② 投票所・開票所における対策を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 投票所の配置 イ 3密、換気、消毒の対応 ウ 立会人・担当職員の体制 エ 投票時間の変更の有無 	
(2) 今後の水田農業の展望と課題について	
<p>① 出雲市の農業における新型コロナウイルス感染症の影響と現状について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各種別（水稻・野菜・果物・花き・畜産等）の状況 イ 国・県のコロナ対策交付金事業の利用状況 <p>② 明年の米の適正生産量が693万トンとなった事での対応を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 全国で30万トン以上の減少が必要とされる上での出雲市への影響（米の生産量及び水稻作付面積の動向） イ 県及び地域農業再生協議会からの情報提供 ウ 水田園芸・水田フル活用拡大の施策と課題 エ 中山間地域での転作拡大に向けての基盤整備の支援策 オ 飼料用米生産の現状と課題 カ 農業所得の見通しと、所得安定の施策 	

質問者	2 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 2030年国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会に向けて	
<p>① 2030年に島根県で開催することが事実上決定している「国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会」に向けた考えなどを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 開催を契機とする市の方針や期待する展望 イ 競技会場の選定など今後のスケジュール ウ 開催にあたり想定される課題 <p>② 競技者及び指導者を始め、一人でも多くの市民が大会に関与、協力する機運が高まることを願うが、次の取り組みについて考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア スポーツ振興（障がい者スポーツを含む）への取り組み イ 競技人口が減少する中で求められる競技力向上への取り組み ウ 子どもの体力・運動能力向上への取り組み 	

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナから命と暮らしを守るために（検査・医療機関への支援）	
<p>① 全国各地で新型コロナウイルスの感染者が急増し、1日当たりの感染者が2,000人を超える日が続くなど、「第3波」ともいえる感染拡大が起こっています。今後冬から年末年始に向け市民の暮らし・経済を守るため、さらなる施策を打つ必要があると考えます。そこで検査と医療体制について伺います。</p> <p>ア 感染拡大を抑止するためには、無症状の感染者を把握・保護することにもつながるPCR検査の抜本的拡充と、医療・福祉従事者等に定期的な検査を行うなど、検査体制のさらなる拡充が必要と考えます。所見を伺います。</p> <p>イ 医療体制の確立・強化が必要な時に、患者の減少により病院の「コロナ経営危機」が生まれています。本来国の責任で減収補てんをするべきですが、市民の命・健康を守っている医療機関などに対し、市として財政支援が大切と考えます。所見を伺います。</p>	
(2) 新型コロナから命と暮らしを守るために（中小業者・子育て世代への支援）	
<p>① 新型コロナから命と暮らしを守るために中小業者と子育て世代への支援について伺います。</p> <p>ア 新型コロナ感染症の影響を要因の1つとして発生した、市内の倒産・廃業・解雇の件数、人数を伺います。</p> <p>イ 市内の中小業者は未だ厳しい経営を迫られています。国の「持続化給付金」の再支給や、「出雲市地域商業等再起支援事業補助金」「出雲市中小企業等緊急支援給付金」等のさらなる継続が求められています。所見を伺います。</p> <p>ウ 例えば「『Go To トラベルキャンペーン』では全く恩恵を受けられない」など、現在の支援の対象から外れて苦しむ業者もいます。実態をつかみ、支援の対象拡大を求めます。所見を伺います。</p> <p>エ 子育て世代へもさらなる幅広い援助が必要です。支援制度のなかに「就学援助事業」があり、出雲市は他市にはない「『持続化給付金』の給付で認定」という対象の拡大を行っています。現在の申請・認定件数を伺います。</p> <p>オ 「出雲市中小企業等緊急支援給付金」は10月末時点で3,045件給付されています。市として給付金を申請された方に対し「就学援助事業を拡大しています」と、わかりやすいお知らせを出すなど丁寧な対応を求めます。所見を伺います。</p>	
(3) 米価の下落対策について	
<p>① 米の収穫を終えた農家で今、不安が広がっています。コロナ禍のもと、米の需要が減少し在庫が増加することによって、政府が米価大暴落と危機感をあおり、「米価安定のためには大規模な減産しかない」と産地に迫っています。農水省は来年の作付けを36万トン分減らすことを発表していますが、コロナ禍で増えた過剰在庫まで農家の自己責任で減産を迫っています。このままでは2014年産（平成26年）の米価大暴落が再現され、農家はますます厳しくなります。そこで伺います。</p>	

- ア 主食用米の需要が年々減少傾向にある中、国は今年度から「水田農業の高収益化の推進」を創設しました。出雲はタマネギと青ネギを推進品目にし、作付け面積などの目標を立てています。しかし農家からは「米が作れんからといってすぐ他の物を作るのは困難」「やはり米が大事」などの声もあります。米以外のものを作ることができない農家への支援制度がさらに必要になっています。所見を伺います。
- イ 米の過剰が発生した場合、政府備蓄米の買い入れを増やして価格を下支えすることが必要です。国に対し、県とともに政府備蓄米の買い入れを大幅に増やすことを求めるべきです。所見を伺います。

質問者	13 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) オンライン授業を活用した不登校対策について	
<p>① 文部科学省によると昨年の不登校児童生徒は全国で18万人を超え、7年連続で増加しています。今年新型コロナウイルス感染症の影響により、不登校を選択する児童生徒が増えていると聞いています。そこで出雲市の現状と対策を伺います。</p> <p>ア 過去5年の不登校児童生徒数と本年度の状況。</p> <p>イ 不登校の主な原因。</p> <p>ウ 過去5年間の学校へ復帰した児童生徒の割合。</p> <p>エ 出雲市のこれまでの対策とコロナ禍での対策。</p> <p>オ 不登校対策として、不登校児童生徒へオンライン授業の導入はできないか。</p> <p>カ 今後の教育に対するICT環境整備について、市の考えは。</p>	

質問者	22 板垣成二
質問事項・質問内容	
(1) 地域課題解決能力向上のために	
<p>① 2市4町の合併から15年、斐川町との合併から9年が経過しました。この間、全国的な人口減少傾向の中で、出雲市は大きな落ち込みをせず、健闘しています。しかし、コミセン単位で見れば、人口増加地域と減少地域に二極化し、平成17年当時に比べ、10%以上増加した地域が7地域、逆に10%以上減少した地域が24あります。6地域では30%以上の減少です。</p> <p>人口減少地域では少子高齢化に拍車がかかり、地域の存続に関わる由々しき事態が生じています。一方、人口増加地域でも自治会加入率が著しく低下し、加入率50%未満が7地域、その内30%台の地域が2つあります。</p> <p>いずれの場合も、それぞれの地域で地域運営に大変なご苦労があると思います。合併以来、出雲市行政もこうした課題に真摯に取り組んできていただいていると思いますが、このままでは二極化が一層進行していくのは必至です。そこで以下の点について伺います。</p> <p>ア 現状の課題について、どのように分析しているのか。</p> <p>イ これまで出雲市行政としてどのような取り組みをしてきたのか。</p> <p>ウ 現状を踏まえての今後の取り組み方針</p>	

質問者	1 2	神 門 至
-----	-----	-------

質問事項・質問内容

(1) 出雲市の小規模農家の特産振興策について

- ① 市内の特産振興の現状について
 - ア これまでの状況は
※市内の特産品・振興策の現状を含む
 - イ また、担い手等の課題は
※担い手の課題は年齢構成を含む
- ② 新規就農者の現状について
 - ア 年齢構成は
 - イ 経験経歴（農家・非農家）は
 - ウ 出身地（県内・県外・国外）は
 - エ 課題は
※就農へのハードル・人材確保・地域住民との関わり等を含む
- ③ これからの特産振興策について
 - ア 誰が
 - イ どのように
 - ウ どう守るのか

(2) 出雲市の有害鳥獣対策について

- ① 鳥獣被害の状況・捕獲実績（過去5年前と比較）について
 - ア シカ
 - イ イノシシ
 - ウ ヌートリア
 - エ タヌキ
 - オ カラス
 - カ クマ
 - キ サル
- ② これまでの課題と対策について
※猟友会等の捕獲対応者（人数・年齢等）を含む
- ③ これからの対策（備え）について
※予算等を含む

質問者	24 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 冬季に向けての新型コロナウイルス感染症対策について	
<p>① 現在、新型コロナウイルス感染症は、第3波ともいわれる流行期に入った。インフルエンザの流行期とも重なり、市民の方が非常に心配されている。そこで、現在の新型コロナウイルス感染症の対策状況などについて、次の点を伺う。</p> <p>ア 現状の対策やマスク、消毒液などの確保について伺う。また、市内で発生した場合の対応について伺う。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行した場合の対応はどのようになるのか伺う。</p> <p>イ 成人式などの行事は、どのように実施するのか伺う。</p> <p>ウ 小中学校の対策について伺う。また、万が一にも、学校などで教員や児童生徒が感染した場合の児童生徒への対策や、特に高校受験を控えた中学3年生に、どのようなフォローを考えているのか伺う。</p> <p>エ 修学旅行が3月に計画されている中学校があると伺っている。保護者から心配する声があるが、現在の考えについて伺う。</p>	
(2) 高齢者への医療機関への送迎支援について	
<p>① 中山間地や海岸部に居住している自ら車両を運転して移動できない高齢者の方が、出雲市中心部の医療機関を受診する場合、交通費に多額の費用がかかる。そうした方への医療機関への送迎支援について次の点を伺う。</p> <p>ア 現在どのような支援制度があるのか伺う。</p> <p>イ 介護保険のサービスの適用を受けることが出来ないか伺う。</p> <p>ウ 高齢者在宅福祉で、高齢者福祉タクシー事業があるが、助成対象について次の点を見直す考えはないか伺う。</p> <p>a 現在70歳以上の者のみで構成される世帯となっているが、同居家族が就労しており、医療機関への送迎が出来ない場合を含めることが出来ないか。</p> <p>b 自宅から最寄りの駅やバスから500メートル以上距離が離れている世帯とあるが、その距離を見直すことは出来ないか。</p> <p>c 中山間地や海岸部などについて所得の条件を緩和することが出来ないか。</p> <p>エ 市は、高齢者運転免許自主返納支援制度の創設にあたり、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境づくりを進めるとある。今後、高齢者の移動支援について、どのように考えるのか伺う。</p>	